みずほCustomer Desk Report 2020/04/13 号(As of 2020/04/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.63 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.55	1.0923	118.52	1.2459	0.6330
SYD-NY High	108.62	1.0954	118.74	1.2488	0.6369
SYD-NY Low	108.32	1.0920	118.51	1.2435	0.6312
NY 5:00 PM	108.51	1.0934	118.74	1.2468	0.6348

NY DOW	-	-	日本2年債	-0.170	▲2.00bp
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.000	▲1.00bp
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	19,498.50	152.73	米国5年債	-	-
TOPIX	1,430.04	13.06	米国10年債	-	-
ｼｶｺﾞ日経先物	-	-	独10年債	-	-
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	-	-	英10年債	-	-
DAX	-	-	豪10年債	-	-
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	8.50	▲0.07%
上海総合	2,796.63	▲ 29.27	USDJPY 3M Vol	8.50	▲0.08%
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	8.43	▲0.10%
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	-3.30	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	9.53	▲0.12%
ドルインデックス	99.52	0.00	EURJPY 6M Vol	9.51	▲0.17%

【昨日の指標等】

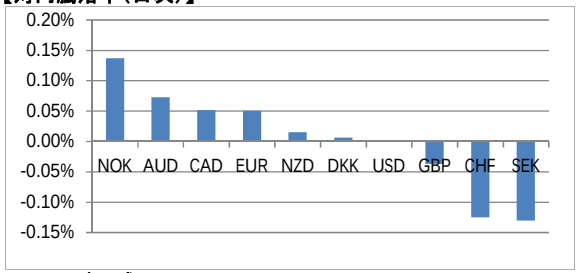
Date	Time		Event		結果	予想
4月10日	10:30	中	CPI/PPI(前年比)	3月	4.3%/-1.5%	4.9%/-1.1%
4月10日	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	3月	-0.4%/1.5%	-0.3%/1.6%
4月11日	01:30	米	メスター・クリーブランド連銀総裁 講演		「FRBの緊急対策恐らく終わっていない」	
4月11日	02:30	米	クオールズFRB副議長 講演		「経済が強い回復を見せると信じられる十分な根拠がある」	

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
-	-	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は108.55ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。海外の主要国がｲｰｽﾀｰ休暇前で薄商いの中、高値108.62安値108.33と値幅30銭程度の小動きに終始し、結局108.42ﾚﾍﾞﾙで海外時間へ渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は、ｲｰｽﾀｰ休暇で欧米主要市場が休場となり、積極的な取引が手控えれる中、108円台半ばでﾚﾝｼﾞ取引となり、108.44ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。本日は米国の債券や株式市場も休場となり、取引参加者が少ない中、閑散取引で終始。朝方は米3月CPIが予想を下回ったほか、ﾒｷｼｺがﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領の仲介でOPECﾌﾟﾗｽと合意したことが伝わるが、ﾄﾞﾙ円の反応は限定的だった。週末も控えていることもあり、午後も動意薄の展開が続き、日中の値幅はわずか21銭に留まり、108.51ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは、前日のEU財務相会合でｳｲﾙｽ対応策で合意を受けて、閑散取引の中でも底堅い推移となり、前日高値(1.0952)までじりじりと上昇し、1.0939ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は特段の材料が見当たらない中、ﾕｰﾛが買い戻され1.0954まで上昇。午後はｲﾀﾘｱで1日当たりのｳｲﾙｽ感染者･死亡者が減少する一方、ﾌﾗﾝｽで死者が13,000人を超えたと報じられる中、小幅反落。終盤は方向感無く推移し、1.0934ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】 105.00～110.00円のレンジ形成へ

新型コロナウイルスが世間を騒がせ始めてから早3ヶ月。依然として猛威を振るい続けている。先週、日本でもようやく緊急事態宣言が発表され出勤時の電車の中を見ていると普段の半分以下の人数になっている印象である。国がここまでの宣言をしないと外出人数が減らない状況に日本国内の平和ボケへの恐怖心を感じると同時に緊急事態宣言をきっかけに人々の行動の変化も見られ始めており少しでも早く新型コロナウイルスが沈静化することを祈る限りである。
さて、マーケットに目を移すと、世間的には予断の許さない状況は続くが、本邦の緊急事態宣言や各主要都市のロックダウンにより新型コロナウイルスについてはネガティブサプライズとなるようなヘッドラインは想定しにくい。一時0.31%と過去最低水準まで低下した米10年債やOPECプラスの原油協調減産の協議決裂により大幅下落した原油価格も20ドル台での推移となっており下押し余地は限定的である。
一方で、ネガティブサプライズを想定しないだけであり新型コロナウイルスを巡る懸念が解決に至ったものではない。原油価格についてもOPECプラスでは2,000万バレルの減産を想定していた中で、1,000万バレルの減産に留まり当面原油価格は軟調推移するであろう。さらには、3月中旬にはドルのひっ迫化から112円台まで上値を伸ばしたものの、ドル円のベーシスマーケットも落ち着きを見せている。これらの点を勘案すると上値追いも想定しがたい。
このような点を踏まえると、105.00-110.00円のレンジ形成を想定しているものの、万が一のネガティブサプライズによる下押しリスクを警戒したい。(小野崎順基)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小野崎・大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13